

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	利用人数によって活動場所の工夫をしているので問題は見られない
	2 職員の配置数は適切であるか	75%	25%	利用者人数によって支援数の調整をしているが十分でない時もある。法的には問題はない。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0%	100%	現在の利用者ではバリアフリーは必要ないが、今後設備改善も検討される。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	25%	定期的に会議をしているが十分とはいえない。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	保護者からのご意見についてはその都度報告し、共有している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	公開されたら全職員に知らせたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	専門家による研修会を定期的実施し、職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	75%	25%	時間の許す限り、保護者、利用者の課題解決の時間を取り、客観的に分析した上でサービスの向上に繋げるようにしている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	標準化されたツールを利用していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	毎月定期的集まって教材、教具等の工夫改善等について協議している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75%	25%	季節、月毎、子供の発達年齢に沿った活動を工夫し魅力のある活動内容にしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	50%	季節の特徴を生かした活動を工夫している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	こどもにとって魅力的な活動になるように工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	支援開始時には打ち合わせを行い、支援内容、役割分担等の確認をしている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	できるだけ、その日のうちに確認し合っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	サービス提供記録を作成し、日々の支援記録を取り、家庭にも報告している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	サービス計画見直しの必要性を判断している。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	ガイドラインに沿って支援できるよう努力している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	こどもの状況を書面で詳しく報告、説明しサービス担当者会議に参画して頂いている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	できる限り、情報を得るように努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	現在の利用者では問題の発生はなく、家庭との連絡を密に取るように注意している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%	0%	できる限り、情報を得るように努めている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	今後必要になれば、情報を提供する予定である。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	75%	25%	できる限り、情報を得るように努めている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	現在は交流の機会を設けていないが、将来的に検討を考えたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	できる限り、情報を得るように努めている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	毎月、保護者会を開催し、共通理解を持つようにしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	主任研修会を通して支援を行うよう努めている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	必要に応じて行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	子育ての悩み、相談については、職員で共有し、状況により専門家より適切な助言を頂いている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	個別支援計画書を作成し、計画に対し説明をし、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	子育ての悩み、相談については、職員で共有し、状況により専門家より適切な助言を頂いている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	毎月、保護者会を開催し、共通理解を持つようにしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	保護者との意志疎通、配慮事項については連絡帳を利用時に活用しているが確認不足の家庭もあるので電話連絡を取っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	会報「優遊だより」を毎月発行している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	連絡帳等を活用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	マニュアルを作成し、資料を基に図っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	マニュアルを作成し、資料を基に図っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	利用前に保護者より事前に調査を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	アレルギーの子供たちは文書、連絡帳、電話等で確認し、おやつ時に注意している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	事故発生時はマニュアルを元にヒヤリハットを作成し、共通理解を計っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	定期的に研修を行い、職員間で周知徹底している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	身体拘束についての文書を作成し、保護者に共通理解を計ると共に、署名捺印を頂いている。